



この度はテイラーギターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
テイラーギターは主に木という材料を使っているため、時を経るにしたがって温度や湿度の影響を受け変化をしていきます。楽器を最良のコンディションに保ち、その素晴らしさを十分に楽しんでいただくためにもこの説明書をよくお読みいただき注意事項を十分にご理解いただきご使用ください。
また、一部の特殊な製品には、本説明書のお取り扱いが当てはまらない場合もございます。
ご不明な場合は、必ず販売店もしくは弊社までお問い合わせください。
また、製品保証書の詳細に関しては、<https://www.taylorguitars.com/legal/warranty>に記載されている保証規定をご覧ください。

はじめにお読みください

安全にお使いいただくために

表記について

本書では、本機を安全に正しくご使用いただきあなたや他の方への危害や財産への損害を未然に防ぐために事項を下記の記号で表示しています。
内容をよく理解してから取扱説明書をお読みください。

◇警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

◇注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◇お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

●外的要因によって生じた本製品の故障、不具合などの損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◇警告

湿気の多い場所では併用されるアンプ、機材などにより感電を誘引する恐れがあります。直接雨がかかる野外や風呂場などの湿気の多い場所では演奏しないでください。

◇注意

<製品本体の取り扱いについて>

- ストラップを使用する場合は、ストラップが確実にギターに固定されているか確認してください。きちんと固定されていない場合、落下などをまねく恐れがあります。
- 演奏中にギターを振り回すなどの乱暴な取り扱いは避けてください。
(楽器がストラップからはずれて落下したり、他の人を傷つけるなど思わぬ事故の原因となります。)
- 小さなお子さまの手の届かない場所で保管、使用され、保護者の方の必要な場合は、その責任のもと十分に注意して使用してください。
- 弦が切れた場合、手や顔に当たってケガをする恐れがあります。特に弦が目当たった場合などは失明の危険がありますので、弦に顔を近づけることはおやめください。
- アンプ、ヘッドフォンなどを使用して演奏される場合は、音量や音質に注意して使用してください。長時間大音量で使用していると回復できない難聴になる恐れがあります。またアンプの故障や周囲に悪影響を及ぼす原因にもなりますので、極端な大音量での使用は避けてください。
- 製品によっては、設計デザイン上もしくは搭載パーツなどの形状により、先端が尖った部分や突出した部分があります。周囲の人物や物品などに十分注意してご使用ください。
- 製品によっては、トレモロシステムなど非常に強いバネを用いた部分があります。弦を交換する場合など、トレモロ部分で指などを挟んでケガをしないよう十分注意してください。
- ギターのネックは木製品ですので、モデルによってはまれにネックの乾燥によってフレットがネックからはみ出してくることがあります。このような状態で演奏すると、フレットの端で手を傷つける恐れがあります。万一このようになった場合は、直ちに演奏を中止してお買い求めになった販売店に修理を依頼してください。
- スプレー式のギタークリーナーなどを使用する場合は、換気に注意してください。
風通しの悪い場所で使用すると中毒症状を起こす恐れがあります。また可燃性のものは火気に十分注意して作業してください。
- ギターケース、バックに入れて持ち運ぶ場合は、ケースの留め金やファスナーがしっかりとかかっていることを確認してください。ふたが開いてギターが落下する場合があります。

<弦の取り扱いについて>

- 弦を張る場合は、本来の音程以上に強く巻かないよう、チューニングをしながら丁寧に巻いてください。必要以上に強く弦を巻いてしまうと、新品の弦であっても切れてケガをする恐れがあります。
- 弦を交換するときや調弦するときは、弦に顔を近づけ過ぎないようにしてください。弦が不意に切れて目を傷つけたり、思わぬケガの原因となることがあります。
- 弦を交換したあと、弦の不要な部分は短く切りそろえてください。
(弦の先端は鋭利なため、ケガの原因となることがあります。)
- ギターのヘッドをクロスなどで清掃する場合に、弦の先端部分でケガをしないよう注意して作業してください。

●弦がサビてくると弦で指を切る恐れがあります。また、使い古した弦は非常に切れやすく思わぬケガの原因にもなります。定期的に新しいものと交換してください。

◇お願い

<保管と運搬その他について>

- 製品によって倒れやすい構造をしておりますので、転倒、落下などしない安定した場所、環境にて保管してください。
- ギタースタンド/ギターハンガーなどを使用して保管する場合は、転倒、落下しない安定した場所にてしっかりと固定してください(使用されるギタースタンド/ギターハンガーなどの取り扱い方法に従ってご使用ください)。
- ケース(ハード/ソフト問わず)に入れて保管する際にも、安定した安全な場所で保管し、その上にモノを積み上げたり、立てかけたりしないようにしてください。
- ギターは木製品です。投げたり落としたりすると容易に破損してしまいます。丁寧にお取り扱いください。
- 高温・多湿の場所、砂やほこりの多い場所を避け、換気の良い場所に保管してください。
- 直射日光が当たると、塗装などの色があせてくる恐れがあります。
- 雨の中で演奏するなどしてギターに直接水分がかかったり、炎天下で演奏するなど高温の場所に長時間さらされると、ボディ、ネックなどの木部に狂いを生じる恐れがあります。
- 樹脂製品や家具などの塗装されたものに、ギターの表面を直接長時間接触させた場合、色移りしたり溶着したりしてお互いを損傷させる恐れがあります。ギターケース、バッグに入れておく場合でも、直接それらに接触しないように保管してください。また、定期的に開閉し製品の状態をチェックされることをおすすめいたします。
- ギターの表面をクリーニングする場合にベンジン、シンナーなどの薬品を使用すると、変質したり変色したりする恐れがあります。
- 製品を運ぶ際には、その方法を問わず、転倒、落下などの事故に注意して運搬してください。またケースによる運搬中でも衝撃などを与えないよう注意してください。車両での運搬の際は、動かないよう固定し積む場所や環境(例:車のトランクなどは非常に高温になります)などにも十分注意してください。
- 宅配便などを利用して輸送する場合は専用のハードギターケースを使用するか、丈夫なカートンを使用して緩衝材を十分詰めて梱包し、ワレモノ扱いにしてください。楽器店で購入したときのカートンは運送用には適していない場合があり、そのまま出荷すると破損する恐れがあります。
- 製品には、調整、メンテナンスなどに専用の器具を必要とする場合があります。取扱説明書に従って、適正な器具を正しくご使用ください。

<乾電池の取り扱いについて>

- 乾電池を使用する製品については、乾電池の液漏れなどに注意してください。乾電池は自然に放電する特性がありますので、定期的に交換されることをおすすめします。
- 使用する乾電池は指定された型で、極性に合わせて正しくお使いください。
- 使用済みの乾電池を火の中に入れると爆発する恐れがあり非常に危険です。一般のゴミと分けて定められた場所に捨ててください。
- その他、乾電池の取り扱い表示にしたがって正しく使用してください。

(不具合の一例)

- ・ホルダーに電池が入らない。
- ・電池は一旦入ったが使用中にホルダーごと飛び出した。

・無理に電池を入れようとしたことで、ホルダーが破損した。

コンディション維持のために

空気の湿度と木材の湿度

一般的に木材は、湿度や湿度の変化に影響されやすい性質をもっています。

木材自体の水分が周囲の環境、つまり相対湿度や気温によって変化するからです。相対湿度空気に含まれている水分の割合いを%で示したもので、湿度30%は空気が含むことのできる水分量に対する実際の水分量の割合いが30%であることを意味します。この相対湿度と木材の湿度の測定値にはかなり差があり、例えば摂氏約22.2°C相対湿度30%の時の木材湿度は6%です。

ギターの保管方法と、湿度気温変化からの保護について

テイラーギターのネックは弦をチューニングした状態でベストとなるように設計されています。

日本国内ではギターを弾かない際に都度弦を緩める習慣が多く見られますが、テイラーギターでは、弾き終わるたびに弦を緩めてしまうとそのたびにネックに掛かる負荷が変化し、不安定なネックの状態が続くことになってしまい、場合によってはネックの捻じれ等を誘発する原因の一つともなると考えています。

そのため、テイラーギターでは、弦を交換する時以外はチューニングを緩めずに保管・使用頂く事を前提としております。チューニングを緩めない場合、それによりブリッジ付近のボディトップが持ちあがってしまうと考えるユーザー様もいらっしゃいますが、このトラブルの多くの場合は、ブリッジ部分に掛かるテンションが直接的な原因ではなく、保管・使用環境の湿度・温度管理の不備が原因と考えられます。

テイラーギターが推奨するギターの管理環境は、温度摂氏20°C前後、湿度50%前後(±10%まで)としています。したがって、保管の際には40%を下回る乾燥した湿度状態や、60%を超える過度な湿度の環境下に置かれたギターは、木が乾燥して縮む、もしくは吸水して膨れてしまう現象が起きてきます。乾燥すればアコースティックギターのボディトップは内側方向へくぼむように変化し、吸水すれば膨れてブリッジ付近を中心にボディトップが持ち上がります。また、塗装面が木材の急激な変化についていけずに、クラッキングを起こす場合もあります。ギターに理想的な湿度は50%前後とされますが、40%~60%の間を維持していれば大きなダメージが起きる事は少ないといえます。

室内でギターを吊るして保管したり、スタンドに立てて保管する場合は、部屋全体の湿度・温度コントロールが必要となります。暖房器具やエアコンは湿度の急激な変化を引き起こす原因となる事が多く、部屋全体の湿度・温度コントロールは難しいものです。適正に湿度管理ができギターの保管に最善の場所は、ある規模で外気を遮断できるギターケースの中と云えるでしょう。まずギターケースの中が40~60%の湿度になっているかをデジタル湿度計(アナログ湿度計は精度や表示時間の誤差などがあるため、正確なデジタル湿度計を推奨します)を使って確かめたうえで、問題がなければギター本体をケースの中で保管することをお勧めいたします。

その際のケースの種類は、安全性などの面で頑丈なハードケースがよりおすすめではありますが、強度での安全性を除けばギグバッグなどでも対応する事は可能です。また同時にケースの中に、市販されている湿度調整材などを同梱し保管する事で、ケース内の極端な湿度変化を防ぐことができるでしょう。

※市販の湿度調整材などを使用する場合は、湿度調整材の使用注意などを守って使用ください。また、定期的にデジタル湿度計を使用して、ケース内や保管環境の湿度・温度を保ち続けることが重要です。

お手入れの方法

前述の保管方法に順じて正しくテイラーギターを保管していただいた上で、さらに長い間ギターを保管いただく方法として、日常のお手入れを推奨いたします。

ギターを演奏された後は、クロスなどを使用してギター弦や演奏時に触れるフレット、フィンガーボードに付着した汗や汚れを取り除いていただく事で、弦の寿命を長くし、弦に触れている金属部分の劣化を防ぐことができます。

また、定期的にフィンガーボード用のオイルやボディ用ポリッシュなどを使用し各部のコンディションを保つことで、それぞれの劣化を防ぐことができます。使用するオイルやポリッシュは、それぞれの使用上の注意にしたがって正しくお使いください。また、液体のものは直接塗布するのではなく、クロスなどに取ってから目立たない場所でお試し頂いてから使用するようにしてください。

なお、アコースティックギターのサウンドホール内部の内側は、木材が未塗装であり外部に対して非常にデリケートですので、液体などが垂れることのないように注意してください。また、配線や電気回路、基盤などが多く搭載されている場合がありますので、むやみにお手を触れることのないようにしてください。

フィニッシュ・木材のクラッキングについて

乾燥や過度の加湿、経時変化などによる塗装面や木材のクラッキングは、前述の保管環境などにより発生しますが、長期的にご使用される際の経時変化として避けられない場合もございます。その場合の修理作業は、症状により様々な方法や作業工程がございますので、クラッキングの発生が気になる場合は、一度購入楽器店を通してお問合せください。

※クラッキングを含む外的損傷は正規保証規定上でも保証対象外であるため、全て有料修理となります。

ギターの移動・運搬について

ギターを移動する際は、ケース内に正しく収納し、転倒や衝突・落下などのないよう十分に配慮して移動するようにしてください。また、「お願い<保管と運搬その他について>」の項目をよくお読みになって行動してください。

なお、温度や湿度の激しく異なる環境の移動は避けて頂き、万一そのような環境下に際した場合は、ケースをすぐに関せずケースに保管した状態で、ある一定の時間、周辺環境に適合させた後、ケースを空けるようにしてください。

ネック調整

ネック調整は、ネックが調整必要な反りの状態になった場合に、ネックに埋め込まれたトラスロッドによって行います。トラスロッドレンチ1/4インチサイズを使用し、トラスロッドカバー内(またはサウンドホール内)にあるロッドナットを回し調整します。

ネックの状態が順ゾリの場合は、ロッドナットを右回り(時計回り)に回します。

また、ネックの状態が逆ゾリの場合は、ロッドナットを左回り(反時計回り)に回します。なお、ロッド調整はその効き具合を確認しながら、少しずつ行ってください。

なお、必ず専用のレンチをご使用になり、弦のテンションを緩めてから行ってください。

また、ロッドナットが硬い、回りにくい時などは、無理に調整せず購入楽器店など取扱店にご相談ください。

ベイビーシリーズとナイロンシリーズの一部モデルはロッドナットの位置が非常に深く、一般のトラスロッドレンチでは届きませんのでご注意ください。

※ネック調整には、専門的な経験や判断が必要な場合もございます。ご自身で行う場合は十分に注意して行い、ご不明な場合は購入楽器店、取扱店など専門家にご相談ください。

保証規定

★本製品の保証規定については、下記HPをご覧ください。

<https://www.taylorguitars.com/legal/warranty>

カスタマーサービスセンター以外での修理や改造などが故障原因と関連する場合

- ・ご使用することによる消耗品や消耗箇所、外観の傷などを含む外的損傷、または経時変化湿度や温度変化などの保管環境に起因する故障の場合
- ・付属ケースを含む付属品の故障および損傷
- ・天変地変(火災、地震、風水害、落雷等)によって生じた故障または損傷
- ・取り扱い説明書ならびに安全上のご注意にそった正しい使用をされていない場合修理をお預け頂く際に発生する運送費やその他の移動費本ページは、保証書ではございませんので、保証規定に関する実際の効力はございません。お買い上げの製品に添付された製品保証書の内容を必ずご確認ください。

★その他詳しくは、テイラーギターズオフィシャルHPの『サポート』も併せてご確認ください。

<https://www.taylorguitars.com/>

「安全上のご注意」および本取扱説明書の内容を十分にご理解してご使用ください。その内容に沿わず起きた事故・トラブルに関しましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

記載の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。